



2026年2月13日

各 位

会 社 名 アライドテレシスホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 サチエ オオシマ  
(コード番号：6835 東証スタンダード)  
問合せ先 上級執行役員 IR部長 田中 宏介  
(TEL：03-5437-6007)  
(URL <https://www.at-global.com>)

## 中期経営計画公表に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画を公表することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画公表の背景

AI技術の進展は不可逆的な潮流として社会全体の構造変化をもたらしており、当社グループが属する情報通信機器業界にも大きな影響を与えています。このような環境の中、変化のスピードに機動的に対応しながらも持続的な成長を実現するための経営基盤の確立を目指し、当社は過去3年間にわたり、各種施策を段階的かつ着実に実行してまいりました。

今後さらに変化が進むと想定される中、明確な経営理念・方針を社内外に公表し、独自のコーポレートアイデンティティを確立するため中期経営計画の公表に至りました。

#### 2. 対象期間

2026年12月期から2028年12月期までの3か年

#### 3. 2028年12月期財務目標

	2025年12月期（実績）	2028年12月期（最終年度）
売上高	49,950百万円	57,000百万円
営業利益	4,228百万円	4,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,919百万円	2,600百万円
1株当たり配当額	8円	12円

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

(注) 本資料に記載されている利益等の計画値については、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況 および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。

以上

# 2028中期経営計画

2026年2月13日

アライドテレシスホールディングス株式会社  
(東証スタンダード: 証券コード6835)

# 中期経営計画公表の背景

AI技術の進展は不可逆的な潮流として社会全体の構造変化をもたらしており、当社グループが属する情報通信機器業界にも大きな影響を与えています。このような環境の中、変化のスピードに機動的に対応しながらも持続的な成長を実現するための経営基盤の確立を目指し、当社は過去3年間にわたり、下記の施策を段階的かつ着実に実行してまいりました。

今後さらに変化が進むと想定される中、明確な経営理念・方針を社内外に公表し、独自のコーポレートアイデンティティを確立するため中期経営計画の公表に至りました。

## 経営基盤の強化

- 組織改編による業務整理・効率化
- マーケティング部門強化による顧客ニーズの把握
- 在庫の集約化等のサプライチェーンの改善
- 遊休資産の売却
- 不採算拠点閉鎖（タイ・フィリピン）
- 非コア事業売却（2026年度）

## 株主還元

- 配当再開（2023年度）
- 3年連続増配
- 自社株買い（2024年度、2025年度）  
（2年合計6.88億円、取得株式数合計4,718,700株）
- 株主優待制度の開始

配当金推移



# 中期経営計画の目標と経営理念

# 2028 中期経営計画目標

## 持続的成長

- 利益を伴う売上成長
- 規律を維持した研究開発へ継続投資
- パートナーやサプライヤーとの長期的な関係構築
- AI本格導入/コスト構造改革

### [売上成長目標]

CAGR：4%-6%

### [営業利益率目標]

FY2028：7%

## 人的資本投資

- 長期的視点における企業価値向上を目指し人材育成投資強化
- グローバル水準の報酬体系整備
- エンジニア人材の確保
- 株式報酬強化による全役職員の企業価値向上へのコミット
- ダイバーシティプログラムの更なる進化

### [報酬体系整備目標]

2026年上期：ストックオプション  
2027年上期：譲渡制限付株式制度  
2028年上期：グローバル社員持株会  
2030年末：国内社員平均年収1000万円

## 株主還元

- 累進配当
- 中間配当開始
- 機動的な自社株買い継続
- 株主優待制度の継続
- IR活動の強化

### [一株当たり年間配当目標]

中期経営計画3年目に25年度比50%増

2025年度実績 = 8円  
2026年度予想 = 9円  
2028年度目標 = 12円

持続的成長を果たし全てのステークホルダーに長期的に貢献する

# 経営理念

インテグリティ  
Integrity



先端技術  
Advanced Technology

インテグリティを軸とした  
誠実でフェアな経営

女性活躍推進活動  
のさらなる飛躍

ダイバーシティ

創業時からの  
多様性をさらに追求

全てのステークホルダーに対して  
誠実でフェアな経営

IR

投資家との誠実な  
コミュニケーション

アイデンティティ

社内外への  
経営理念の浸透

先端技術を駆使して  
世界の社会インフラを支える

テクノロジー

先端技術の  
戦略的活用

研究開発への積極的な投資  
迅速な製品投入

グローバル

世界中からマーケット  
インテリジェンスを収集

人材

技術系人材への  
重点投資

インテグリティを軸に、先端技術を駆使して世界の社会インフラを支える

# 成長戦略

# 地域セグメント毎の成長戦略

## グローバル共通

- AIを競争力の源泉と位置づけ付加価値創出力の向上
- 地政学問題に柔軟に対応出来るサプライチェーンの構築
- 事業拡大の加速に向け、当社戦略との整合性を踏まえた適切な中・小規模の戦略的M&Aを慎重に検討する

## 日本

- コンサルティング事業の展開と先端テクノロジーの駆使による成長
- グローバル水準の報酬体系を整備し、世界で戦える人材を育てる
- マーケットセグメンテーションの強化による効果的な販売戦略の実行

## 海外

- 市場特性を踏まえた販売拠点配置の最適化による効率性と収益性を両立した売上成長を図る
- パートナー企業との関係を強化し、エコシステムの拡大を図る
- インド・中東等成長市場への重点投資

グローバル施策と地域施策を実行しグループ全体の成長を図る

# グローバルコンサルティング事業の展開

## アライドテレシスのノウハウ

約40年に渡るグローバルでの  
ネットワークインフラ実装経験

最新のIT環境に求められる  
最先端ITインフラ技術の活用

グローバル拠点網による強固な  
サポートとパートナーネットワーク

## 市場背景

国際的なサイバー攻撃の常態化

生成AI浸透に伴う  
企業内セキュリティ環境の変化

## 目標

グローバル企業のITガバナンス設計をサポート

世界各地のパートナーと連携し、各国・地域に  
即した最適なソリューションを提供

コンサルティングサービスを中心とした  
フルサービスメニューで付加価値を提供

世界各国のパートナーとの連携を深め、顧客に最善のソリューションを提供

# テクノロジーへの取り組み

## 自社開発

- 研究開発への規律を維持した継続投資
- Time to Marketの向上

投資効果を強く意識した  
研究開発

Time to Marketを意識し  
継続的に製品を市場投入

## テクノロジーパートナー

- 先端技術を提供するパートナーを発掘
- シリコンバレー拠点にテクノロジーオフィスを開設

世界の先端テクノロジー企業との  
提携

マーケットインテリジェンスの  
取り込み

## エンジニア比率の向上

- 研究開発・SE等の技術系社員比率の向上
- AIネイティブ人材育成

先端技術を駆使してユーザー  
ニーズを解決できる人材の育成

AIの効果を最大限引き出せる  
人材の育成

市場ニーズに対して迅速に対応できる研究開発体制の強化

# サプライチェーン強靱化

## サプライチェーンリスク

地政学的リスクの顕在化

コスト変動の拡大

需給変動による長納期化

## 施策

**分散化・多元化による強靱化**  
代替調達・切替を前提とした供給設計

**需給可視化・予測高度化**  
データ活用による需給・在庫・コストの  
一元的な可視化

**生産・在庫オペレーションの最適化**  
工場主導による在庫計画・生産調整の高度化

様々なリスクを考慮した「持続的な供給力・収益力」の確保

# AI × オペレーション

全社員がAI活用を徹底し「人が付加価値に集中できる業務構造」を確立  
3年で累計30万時間の削減

## 全社員の生産性向上

**全社的なAI活用の定着**  
AIエージェントによる業務自動化・高度化

**創造的時間の創出**  
AIエージェントによる  
生産性向上とスピードアップ

**働き方そのものの変革**  
「AI前提」の業務スタイルへ移行

## AI前提 業務プロセス再設計

**バックオフィス自動化**  
見積・申請・照会業務の自動化

**営業・CSプロセスの刷新**  
顧客対応スピードと品質の標準化

**属人化の排除**  
暗黙知を形式知化し組織全体で活用

## 全社基盤 & ガバナンス

**AIリテラシー教育**  
全社員をデジタル人材へ

**セキュアなAI基盤構築**  
社内データを安全に活用する環境

**データ整備と監査体制**  
AIが正しく機能するための土台作り

持続可能な成長に向けた「AIネイティブ企業」への進化

# 財務目標

# 財務目標

(単位 百万円)	2023 実績	2024 実績	2025 実績	2026 予想※2	2028 中計最終年
売上高	44,385	48,458	49,950	<b>52,000</b>	<b>57,000</b>
売上高成長率	7.0%	9.2%	3.1%	目標 CAGR 4%-6%維持	
営業利益	2,208	3,424	4,228	<b>3,300</b>	<b>4,000</b>
売上高営業利益率	4.9%	7.1%	8.5%	<b>6.3%</b>	目標 <b>7.0%</b>
純利益	1,089	3,601	2,919	<b>2,100</b>	<b>2,600</b>
売上高純利益率	2.5%	7.4%	5.8%	4.0%	4.6%
一株当たり配当金額	1円	6円※1	8円	9円	12円

想定為替レート：USD 1 = JPY 158

※1 普通配当：2円、特別配当：4円

※2 Allied Telesis Capital Corp のIPトリプルプレイ・サービスの事業譲渡により売上高は約18億円、営業利益は約8億円の減収減益を見込む。なお本事業譲渡に関する特別利益は現時点で確定できないため折り込まず。

持続的な成長とステークホルダーへの還元を意識した財務目標

# サステナブル経営

# グローバルリスクマネジメント

リスク	内容	対応
政治・経済情勢	<ul style="list-style-type: none"><li>各国・地域経済の減速</li><li>急激な為替変動による日本国内景気悪化</li><li>国際的な通商条件の変動リスク</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>緊急時対応のための現金残高の維持</li><li>不採算拠点の閉鎖等による効率化</li></ul>
サプライチェーン	<ul style="list-style-type: none"><li>原材料価格高騰や調達困難</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>柔軟性のあるサプライチェーンの整備</li></ul>
テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"><li>エンジニア人材獲得難</li><li>サイバー攻撃や情報漏洩</li><li>知的財産権の侵害</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>人材戦略に基づくエンジニア人材確保</li><li>従業員教育の徹底とゼロトラストなど情報セキュリティ基盤強化</li><li>専門人材の配置と弁護士・弁理士等と連携</li></ul>
法規制・法令順守	<ul style="list-style-type: none"><li>各国規制変更による製品適合性の毀損</li><li>役職員による重大な法令違反等の発生</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>専門機関の協力の元、影響の事前把握</li><li>定期的なコンプライアンスセミナー等の開催</li></ul>
災害等	<ul style="list-style-type: none"><li>各国・地域における自然災害等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>BCP強化</li></ul>

## FY2028中期経営計画期間に想定される重要リスクと対応

# コーポレートガバナンスの強化

計画	目的	目標
コーポレートガバナンスガイドラインの開示	基本方針の透明性と一貫性を確保	2026年度
スキルマトリックスの開示	取締役会に求める専門性・能力可視化	2026年度
取締役会の実効性評価開示	監督力/資本効率改善/リスク管理能力向上	2027年度

ガバナンスをさらに強化し、長期的な企業価値向上を目指す

# Diversity Drives Our Future.

多様な力が未来を創る。

アライドテレシスグループは、今後の更なる成長戦略として、ダイバーシティの推進を重要経営課題と捉えています。多様性を尊重し、誰もが自分らしく活躍できる企業文化の醸成を目指します。

### 企業風土の醸成

社員一人ひとりがダイバーシティの重要性を理解し、多様な人材が活躍できる企業風土を醸成します。

### 多様な人材の 活躍推進

人種、宗教、性別、年齢、性的指向、障がいの有無、国籍、その他の特性にとらわれず、多様な人材の採用・育成・登用を推進します。

### キャリア形成と 能力開発の支援

個人がもつ能力と個性の発揮を促すため、社員一人ひとりのキャリア形成と能力開発を支援します。

### 両立支援の充実

社員の様々な事情にあわせ、多様で柔軟な働き方ができるよう、両立支援を充実します。



WOMEN INSPIRING NURTURING GROWTH SUCCESS  
女性 奮起 育成 成長 成功

ダイバーシティ推進活動の一環として女性の活躍推進に注力しています。すべての女性社員が自分らしく活躍できる職場環境の醸成を目指し、「WINGS PROJECT」として様々な取り組みを実施しております。

創業時からの多様性をさらに追求し成長ドライバーとする

最後に

インテグリティを軸に、先端技術で  
新しい領域へ挑戦し続けるグローバル企業へ

インテグリティ + 先端技術

持続的成長

人的資本投資

株主還元



## 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている利益等の計画値については、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況 および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。